



## 「わが校PTAの現状」と「目指す在り方」そして「そこへ向かう歩み」

岐阜西中学校 PTA

【邨瀬永慈 山田喜美子 河野範子 亀山由紀子 中尾恵美子 木村絵里子 國井純子 後藤潤一 北村由美】

本校は37年ほど前にお隣の本巣郡北方町の北方中学校から分離し開校しました。  
岐阜市内に在る中学校としては最も西に位置し、校区には七郷小と合渡小を抱える二小一中です。

本校 PTAの活動テーマ ～「出来る事から始めてみよう～出来る時に、出来るだけ」～

誰もが経験したことのない「コロナ禍でのPTA活動・・・」。

何が正解で、子どもたちにとって何が必要なものなのか・・・。

非常に多くの課題を投げかけられ、考えさせられ様々な制約・規制の中、日々は過ぎていきました。

2021年も後半に差し掛かる今、怒濤の第5波も収束傾向になり日常生活も徐々にコロナ前の状態に戻ろうとしております。

本校はくじ引きや選出会みたいな役員決めはせず、【新たな形のPTAの設立準備】を命題に掲げ、有志による運営委員を軸に、クラス役員選出無し、更に4専門委員会の統廃合を踏まえ、地域生活委員会以外の各専門委員長も選出しない体制で運営を試みております。

漢検協会の漢字検定、制服リサイクル事業に何名かボランティアの応募があり、協力して事業活動が出来ました。

### 本校が目指す 新たな形の PTA への歩み

岐阜市総合教育会議においては【教育大綱】の編纂が行われ、2021年度から施策実施、次年度以降も継続協議されていく中、本校PTAもこれら教育行政にベクトルを合わせ同調することで今の時代、そして一步先行く時代に見合った、将来においても持続可能な新たな PTA を模索していきたいと思っております。

また、現状のPTAがPTA会則の内容と一致していないため、この先も臨機応変に対応するために会則の一部のみを残し一旦、規約を白紙にして新たなPTA会則を意見交換会等で改めて編纂していく予定です。

・・・我々が小、中学生だった時代のPTAの在り方と今、親世代になった現代のPTAの在り方は社会構造や家庭環境などが大きく大きく変化していることでこのコロナ禍でPTAが社会問題化し、昨今のテレビ番組等で紹介されるようになりました。

PTAは決して「悪」でも、「不要」でもなく崇高な理念のもと、子ども達にも学校運営においても「無くてはならない大事な組織」だと思っています。

ただ・・・今の時代に合っていない、今の学校の状況に合っていない事情が生じているかもしれません。そういったPTA問題を題材にしたテレビの特集や新聞記事を丸ごと鵜呑みにせず、また他の単位PTAの成功例が、自分の地域にそっくりそのまま当てはまる訳ではないことを念頭に置いて、まずは「スクラップ」をし、「校区の地域特性を強みに変え」、「出来る時に出来ること」をひとつずつリビルドして、丁寧に組織づくりを積み上げていき、新たな形のPTAを模索していきたいと思っております。